

人間 社会

異文化 コミュニケーション

坂元 章 / SAKAMOTO, Akira

先端融合系/文教育学部人間社会科学科

http://www.hss.ocha.ac.jp/psych/socpsy/sakamoto/

■ 研究者情報

連絡先

Email: sakamoto.akira@ocha.ac.jp / TEL: 03-5978-5257 / FAX: 03-5978-2559

専門分野

メディア, 心理学, テレビ, テレビゲーム, インターネット

■ 研究成果情報

国際交流のためのインターネットコミュニケーションの活用

キーワード

異文化コミュニケーション, 国際交流, 翻訳チャット, オンラインゲーム, 3D-MUD

研究内容

■ 概要 (背景・目的・内容)

翻訳機能を持つチャットや掲示板、多言語に対応したオンラインゲームなどを通じて、インターネット上で外国の人と接する機会が増えてきています。インターネット上での国際交流は、対面での交流と比較し、低コストで容易に多くの人とコミュニケーションをとることができるという利点があります。しかしながら、異なる文化的背景を持つ人とインターネット上でコミュニケーションを取るときに生じる誤解を防ぐ方法や、より友好的な関係を築くための工夫について、ほとんど研究が行われていません。そこで、本研究室では、インターネットコミュニケーションを介した国際交流では、どのような交流が友好的な関係を高めるのかを明らかにする研究に取り組んでいます。

■ プロセス・研究事例

1) 国際交流ゲームの開発と日韓交流の実践

: 3次元仮想空間(3D-MUD)上で言葉を介さずアバター(仮想空間上のキャラクター)のジェスチャーのみで意思疎通を図る国際交流ゲームを開発しました。また、このゲームを使って、日韓をつないだ国際交流の実践を行いました。

2) 国際交流ゲームの効果の検討—実験室実験による検討—

: 双方の協力がなければ解決できない課題を設定し、意思疎通はジェスチャーのみと制限した国際交流ゲームを行い、その交流効果を実験室実験で調べました。その結果、参加者は交流ゲームに参加することによって交流相手国に対する好意的な気持ちを高めることが示されました(図1)。

3) 翻訳チャットによる日韓国際交流の実践

: 翻訳チャットに対する利用者のスキルやリテラシーを向上させるためのトレーニング方法を開発します。また、そのトレーニングの効果を評価すると共に、翻訳チャットを介した国際交流が、交流相手の国や文化、人に対する態度にどのような影響を及ぼすのかを実験によって検討します(図2)。

■ 潜在可能性 (応用・将来展望)

現在、翻訳機能を持つ各種インターネットコミュニケーションサービスの登場により、一般のインターネット利用者も、翻訳機能を用いて外国のインターネット利用者と接触する機会が増加しています。これまでの研究で明らかになった知見を取り入れたインターネット上での国際交流を提案することで、より多くの人々がインターネットを介した外国の人との交流を楽しむことが期待されます。今後、教育現場での活用や一般ユーザがより気軽に外国の人とコミュニケーションを取れる場面での活用に向けた取り組みを目指しています。また、これまでの研究では、翻訳精度や時差の関係で、日本と韓国を対象としてきましたが、今後は、英語をはじめとする他言語の翻訳チャットを介した交流、韓国以外の国の人との交流でも同様の研究を行っていきたいと考えています。

産学官・社会連携の可能性

■ 共同研究

これまでの研究では市販のシステムを用いて、双方の協力がが必要な国際交流ゲームや、翻訳チャットによる国際交流を行ってきました。しかし、市販のシステムでは国際交流効果を高めるための工夫を取り入れることに限界があります。今後は、これまでの研究でわかった国際交流効果を高めるための知見を取り入れたシステムの開発について共同研究を進めたいと考えています。

■ 知見の教授・共有 (公開講座、ワークショップ等の実施/出版/その他)

これまでの研究で得られた知見を活かして、青少年向けのインターネット上での国際交流のワークショップを企画できます。

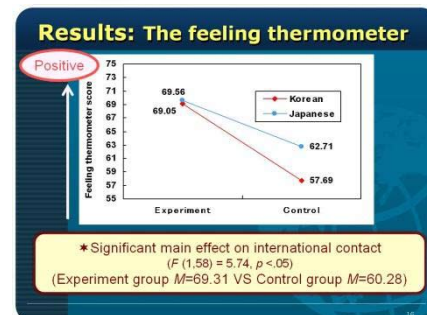


図1 交流ゲームの効果(結果)

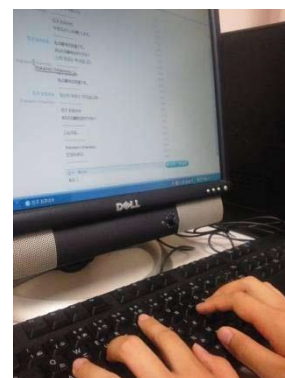


図2 翻訳チャットの実験風景